

看護だより

KANAGAWA

Vol.190
2020年1月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905
<https://www.kana-kango.or.jp/>

令和元年度 会員数 37,557人

(令和元年12月2日現在)



▲普段の仕事場の様子。
みんな真剣！



永年勤続スタッフへのお祝い



ちぎり絵の作品を手に
笑顔いっぱいの利用者さん



心は一つに！人材は宝！



▲縁の下の力持ち！
いつも支えてもらっています！

茅ヶ崎駅から徒歩15分です。1階は保育園、
▼3階部分が陽光いっぱいの新事務所になります



ジョーさん



【今月の表紙】

公益社団法人神奈川県看護協会
あかしあ訪問看護ステーション

→施設の紹介は12ページに掲載しています



▲まちの保健室スタート！
みんなで力を合わせ
頑張ります！

CONTENTS

- ◆「新春に寄せて…」……………2
- ◆スペシャリストが行く
「看護教員」……………3
- ◆新春企画「ねずみ年集まれ～！」
……………4～5
- ◆目からウロコのお役立ち情報
「トクホ」……………6
- ◆かながわ訪問看護フェスティバル2019
……………7
- ◆支部コーナー……………8～9
- ◆役員の推薦及び立候補について／
理事会報告……………10
- ◆お年玉プレゼント／
昨年度「看護だより」の感想……………11
- ◆こんにちは事務局です／
表紙の写真／編集後記……………12

新春に寄せて…

一人ひとりが尊重される 地域社会の実現をめざして



公益社団法人神奈川県看護協会会長 花井 恵子

昨年的大型台風に際し甚大な被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

令和2(2020)年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、神奈川県看護協会の事業運営に、ご支援、ご協力をいただきありがとうございました。

今年は「フロレンス・ナイチンゲール生誕200年」を迎えます。これを記念し、看護職がもつ可能性を最大限に発揮し、健康課題に積極的に取り組み、人々の健康の向上に貢献するために、世界的なキャンペーンを実施します。このキャンペーンは“Nursing Now”をキャッチフレーズに、WHO(世界保健機関)とICN(国際看護師協会)により、世界的に広がっています。また同時に、「看護の日・看護週間」制定30周年を迎える年でもあります。当協会としても、看護の心、ケアの心、助け合いの心を人々に伝え、広げ、今後の活動を飛躍させていきます。



少子・超高齢社会に向けて

2025年を目前に、神奈川県では「いのち輝くマグネット神奈川」を基本理念に、「かながわグランドデザイン第3期実施計画」を策定し、取り組んでいます。今後は、更に2040年問題を見据え、取組む時期にはいりました。国は2040年の様々な推計値を公表しました。人口減少の問題、生産人口の減少の問題、高齢者人口がピークを迎える事、社会保障給付費が大きく伸びる事、などです。

未曾有の少子・超高齢社会を迎えるにあたり、看護職は大きな役割を求められます。年齢や障害の有無などにかかわらず、一人ひとりが尊重され、生き生きとした生活をおくることのできる地域社会の実現をめざすために、自治体、医療・福祉関係団体とともに協働し、県民の皆さまが安心・安全な医療が受けられるよう、取り組んでまいります。



災害時の対応に向けて

ここ数年、地球温暖化と共に予想外の気候変動が起きています。特に自然災害は、様々な予防対策をしても対応しきれない規模で発生しています。昨年の台風19号による神奈川県内での被害は、記憶に新しいところです。長期に渡る停電に見舞われた方、床上浸水や敷地内の浸水、交通機関への影響等で、多くの皆さまが日常生活に大変な支障をきたされたことと思います。心よりお見舞い申し上げます。

神奈川県看護協会は、災害時に対応できる災害支援ナースの育成を行ってきましたが、今後は当県が被災した場合も想定し、更なる人材が必要と考え、育成と支援を継続してまいります。また、関係機関との連携を推進し、災害看護実践の充実に尽力します。看護職の皆さまのご協力をお願いします。

今年は、東京オリンピック・パラリンピック開催の記念の年です。神奈川県内でも、競技が開催されます。当協会もメディカルスタッフやボランティアの協力をさせていただきます。

オリンピック精神に則った素晴らしい年になることを祈念し、新年の挨拶といたします。

スペシャリストが行く!

Activity of specialist

看護教員

「学生とともに成長していく 看護教員を目指して」

東海大学医療技術短期大学看護学科
助教 久永 千歳

資格をとった経緯

大学病院で看護師として勤務し、13年目が過ぎようとしていた頃のことでした。病棟では中堅看護師として後輩指導や新人教育担当者としての役割を担っており、少しずつ経験を重ねながらも、これからどんな看護師になっていきたいのかと考えていました。

そのような時、恩師より声をかけていただきました。大きな衝撃が心身に走りながら、自分に教員が務まるのだろうかという不安と、新たな挑戦に期待と不安で覆われていたことを今でも鮮明に覚えています。

まだまだ私の中で不確かな『看護とは何か』をもう一度見つめ直し、看護をこれから学んでいく学生とともに、看護の奥深さを改めて考えていきたいと思い、看護教員となりました。現在、3年目が過ぎようとしています。

ある学生からの言葉

看護学実習で担当していた学生から「どう考えればいいのか、全然わからない」と言われました。私の心中は『え、わからない? しかも“全然”わからないなんて』と驚きで一杯でした。

その言葉から、自分の関わりを振り返り、学生に期待するあまりに、学生の思考を私の考えに引き込もうとしていたことに気付くことができました。私の考える看護観の押し付けになっていたと反省しました。

このことをきっかけに、現在は学生が捉えたことを丁寧に聴くようにしています。

今後に向けて

教員として日々奮闘し悩むことが多いですが、学生が持っている力を学生自ら引き出し、看護を実践できるような関わりを大切にしたいと考えています。

その思いを実現させるため、現在、星槎大学大学院教育実践研究科で学んでいます。大学院でもそれぞれ志を持った他分野の方と出会うことができ、看護を多角的に捉えることについて日々刺激を受けています。また、指導してくださる先生方の熱意のあるサポートを受けながら、専門職の実践的思考や教育について学んでいます。

看護を考えていく上で、大切にしていることは看護師個人によって違いがあり、様々な視点から患者、家族へ実践され発展していくのだと考えています。このことを根底に置き、目まぐるしく変化する看護の世界へ学生とともに突き進んでいきたいと思っています。



大学での会議の様子(写真中央が久永さん)



友人と行かれた江の島散策で
ホッと一息つく菅原さん



岡山のご両親が作られた
立派ないちじく！



人生100年楽しみたい!!

川崎市高津区役所地域みまもり支援センター 菅原 一子

5回目の年女です。4回目もこの紙面でダイエットを宣言したのですが、まだまだ成長を続けています。この記事が掲載される頃は、普通のおばさん体系になっているはずですよ。

60年の人生ですが、結婚をして岡山から川崎へ、同時に川崎市へ就職し、翌年の夏には喘息で重責発作を起こし臨死体験！その時、春に喘息で亡くなった若い事務職の先輩が迎えに来てくださったのですが「今は行けない」と断った事が鮮明に記憶に残っています。先輩保健師からは「仕事の替わりは誰でもできるけど、家庭での役割は貴女しかいないのだから自分を大

切にきなさい」と言われその言葉を大切にしています。

50歳を過ぎた頃からは、同級生とよく連絡を取るようになり老後や遊びの話で盛り上がっています。今は90歳の舅が人のお世話をしたり、86歳の両親（要支援や要介護）が退職後に始めたいいちじく作りを通して、近所の人達と話をする事で、認知症の進行予防や寝たきり予防になっています。自分も何か人のためになることを、地元の人と出来たらと思っています。そして後輩達の助けができるよう健康で、人生100年楽しみたいです。



新春企画

「ねずみ年 あつまれ〜!」

4名の年女さんに、これから の抱負などを訊きました!!



目標は世界一周旅行!

横浜市立市民病院 沢田 千春

私は一度、看護の仕事から離れ、自然に囲まれた故郷で家業を手伝った後に、大好きな神奈川に戻り看護師として再スタートしたという経緯を持っています。幼い頃からの夢だった「横浜で看護師として働く」という願いを叶え、現在は副師長という役割を担い、外科病棟で勤務しています。

今働いている病院ではPNS看護提供方式を導入し5年が経過しました。立ち上げ当初からのメンバーとして活動し、今は全部署に導入されました。現在は定着のために奮闘しています。また、今年5月に迫った新病院への移転が安全かつスムーズに行えるように、各部署のコアメンバーと協力し、たくさんの知恵を出し合っています。よりよい看護の提供ができるように日々努力していきたいと思っています。

プライベートでは、約一年前からゴスペルグループに所属し、月2回のレッスンを受けています。昨年12月には日本で一番大きなゴスペルグループ【VOJA】のメンバーと一緒にステージに立ちました。これからも大好きな歌を続けていきたいと思っています。

人生一度きりなので「何事も楽しむこと」をモットーに仕事もプライベートも充実した時間を過ごしたいと思っています。今の職場でやれる限りを尽くした後、世界一周旅行に行くことが今の目標です。



ステージ上で歌う沢田さん

菅原さんと沢田さんは何と12年前の看護だより特集「ねずみ年あつまれ!」でも掲載されました。その後ずっと協会の会員でいてくださいました。ありがとうございます!



一人の人間として 未来に柔軟に対応したい

平塚市民病院 看護師長 西島 由美

年女であることを認識できるのも2回目まで。4回目ともなると「そうだったんだ」と妙に落ち着いた感じになるものです。24歳の私であれば、2020年オリンピックの年に年女なんて記念だわ!と待ち遠しく感じたでしょう。何かに挑戦しようと考えたかもしれません。48歳はどうでしょう。干支はあと何回迎えられるのか、そのことが先に浮かびます。同年代のみなさんはいかがですか。

私は新人から十数年を小田原市立病院で過ごしましたが、現在の平塚市民病院での職歴の方が長くなりました。それでも、新人時代に得たものは大きく、今の自分を形成し、悩んだ時には新人時代の先輩方を思い出すものです。今は師長となり「隣の芝生はものすごく青い」と言って落ち込むことも増えましたが、周りの人達に支えられ続けることができています。育った環境や時代背景が多様化している今、昔にこだわり過ぎてても今にこだわり過ぎてても問題は解決しないと感じています。一人の人間として、看護師として、これから訪れる未来に柔軟に対応できる、そんな人でありたいと思っています。

人間以外の生き物が苦手だった私が、とある事情から犬を飼い始めました。苦手だと思うことでも、きっかけさえあれば、意外と簡単に乗り越えられるものかもしれません。



愛犬と一緒にくつろぐ西島さん



信頼される助産師になりたい

伊勢原協同病院 看護部 伊藤 萌夏

幼い頃からテレビっ子の私が12年前に夢中になったのはドラマコードブルーでした。そこで見たピンクのスクラブを着た看護師の姿はとても印象的だったのを覚えています。看護師の母からも勧められていた職業で、ドラマをきっかけに興味を持ち始めました。そんな時、初めて母の働く姿をみて患者やスタッフから信頼されている様子に憧れが強くなり、もともと子供が好きだった私は母から背中を押されて助産師の道を目指しました。

助産師学校の実習では、まだまだ知識も技術もない学生の私に、分娩介助をさせていただいた方から「あなたは私の命の恩人です」と声をかけていただきました。この一言を受け、もっと経験を積んで母児を支えられる助産師になりたいと強く思い、今でもその一言は私の原動力になっています。

夢だった助産師として働き始め、素敵な先輩方にも恵まれ、充実した日々を送っています。先輩の姿を見て、憧れの助産師像が膨らんでいます。これからたくさんの知識や経験を積み重ね、12年後、36歳になったときに先輩方のように患者から信頼される助産師になりたいと思います。これからも自分らしく前向きに頑張ります。



赤ちゃんも伊藤さんの笑顔も初々しい!

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

特定保健用食品 (トクホ)

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「特定保健用食品（トクホ）」について、管理栄養士の神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター 小木敦菜さんに解説していただきました。



効果への過大な期待は危険！ 食生活の見直しを

特定保健用食品とは？

食品には、生命維持のための一次機能（栄養）、食事を楽しむという二次機能（味覚）、そして体のリズム調節や生体防御、疾病予防、老化防止などの健康を維持する三次機能（体調調節）があります。近年の栄養学で注目され研究されているのが三次機能です。

特定保健用食品（通称：トクホ）は、この三次機能に注目し「おなかの調子を整える」などの保健の用途を具体的に表示することを、消費者庁が許可した食品です。

トクホの位置づけ

国が機能等の表示を認める食品は「保健機能食品」と呼ばれ、その中にトクホがあります。保健機能食品は①特定保健用食品（トクホ）②機能性表示食品③栄養機能食品の3つに分類されます。①トクホは個別の審査を受けているため、消費者庁の許可マークがあります。②機能性表示食品は、事業者の責任のもと安全性や機能性などの情報を消費者庁へ届け出るのみで保健の用途を表示しており、個別の審査はないため、許可マークはありません。①②は三次機能（体調調節）に注目した食品です。③栄養機能食品は、一次機能（栄養）に注目した食品で通常の食生活で不足しがちな栄養素の補給のために利用できます。（図1）

「個人の感想です」と体験談のみを記載した商品があります。機能表示を認められていないその他のいわゆる健康食品はこのような宣伝で売られています。

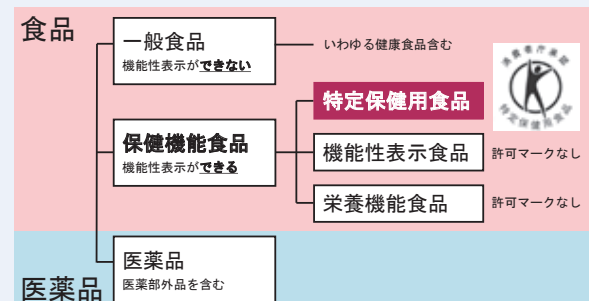


図1

使用上の注意点

乱れた食生活への不安を癒すことを目的とした利用や、医薬品的な効果を期待した利用には問題があります。トクホは、パッケージに「食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。」（図2）と表示することが義務付けられています。トクホの有効性は限定された条件で確認されており、効果への過大な期待は危険です。食生活の見直しと合わせて、トクホを利用することをお勧めします。

またトクホは医薬品とは異なります。医薬品は、品質管理が徹底されているため成分が一定ですが、トクホは食品であるため医薬品ほどの厳しい品質管理は求められず、成分の純度や含有量は不明で、特に天然食品では表示と内容物が一致しないこともあります。

活用方法

効果には個人差があります。体調の改善の有無や体調の悪化を知るために、継続して摂る場合は、いつ何を摂ったかと体調の変化を簡単にメモすることをお勧めします。情報に左右されず、自身が良いと感じるか否かを判断しながら上手に取り入れていきましょう。

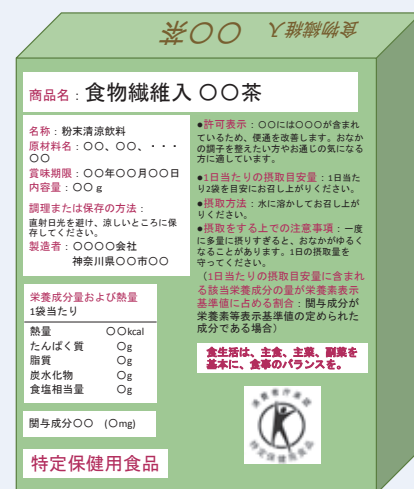


図2

第1回

かながわ 訪問看護フェスティバル2019

人生100年時代を迎え、地域の高齢者を支える在宅医療、訪問看護が注目されています。そこで、神奈川県看護協会では、昨年10月26日（土）に「かながわ訪問看護フェスティバル」を初めて開催しました。「地域でよりよく生きること」をテーマとし、会場である神奈川県総合医療会館7階には238人の方が来場されました。

ホールでは県民の方の血管年齢や血圧測定を行う「まちの保健室」が開かれ、順番待ちの行列ができました。訪問看護の紹介パネルの展示や就職相談、企業展示なども行われ、来場者の目を引いていました。

講堂では音羽山観音寺副住職 佐々木慈瞳氏をお招きし「～住み慣れた地域でよりよく生きる～」をテーマに笑いあり涙ありの講演会が開催されました。



▲まちの保健室「血管年齢測定」の様子



▲嚥下障害の方のためのお食事コーナー。試食もあって賑わいを見せていました。



▲訪問看護の紹介パネル。他にも「訪問看護って何をしてくれるの?」「いくらかかるの?」などわかりやすく解説したパネルがありました。

講演会

～住み慣れた地域でよりよく生きる～

音羽山観音寺副住職 佐々木 慈瞳 氏

佐々木慈瞳先生は、NHKのEテレ「やまと尼寺精進日記」で人気の方とあって、一般県民の方々が多く参加されていました。佐々木先生は早稲田大学大学院で公認心理師を取得され「緩和ケア病棟」でスピリチュアルケアに携わっています。患者さんとの対話を通して人生の意味を見つめ直し、その人らしさを取り戻すことをサポートしています。「病気になるとその人らしさを少し脇に置いて治療に専念することになる」「看護や介護に関わるスタッフが連携して、その人が大切にしたい事を支えてあげられるといい」「日本人が終末期に大切にしたいことは『自分らしく生きること』である」など、スピリチュアルケアの重要性を感じる言葉が心に響きました。

事例として話していただいた終末期の家族の姿が、印象に残

りました。末期がんのMさんは「私の死は希望なの」といいます。夫が家族の中で孤立しており、自分が死を迎えることによってバラバラだった家族の再生が始まると信じるからです。夫は心からの手紙をMさんに渡し、今までの関係を結び直そうとしました。長女は初めて父親の思いを知ったということです。1週間後、Mさんは旅立ちました。講演の中では、自分らしくいられる場所や大切な人がかけてくれた言葉、毎日の暮らしを精一杯生きてどんな存在になりたいか、などの質問が投げかけられ、参加者は折り紙に自分の気持ちを書き込んでいきました。最後に先生と折り紙を折り、参加者は自分の気持ちのこもった素敵なリボンのプレゼントを持ち帰りました。（広報出版委員 鈴木宣子）



▲講師の気さくで暖かな人柄が伺われる講演会



▲折り方を熱心に説明する講師



▲完成したリボンの折り紙。参加者の想いが一緒に折り込まれています。

支部コーナー

このコーナーでは、各支部の活動やお知らせを掲載しています。
今回は、川崎、横浜北、横浜西、横浜南、横須賀の5支部からの報告です。

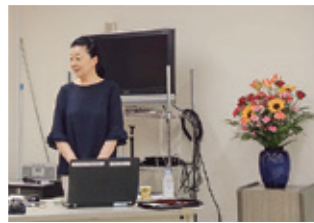


川崎支部 (川崎区、幸区、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区)

支部長 本館 教子 (聖マリアンナ医科大学病院)

地域の看護の質向上、看護職員が生き生きと働ける職場作りを支援していきたい

今年度より支部長を拝命いたしました。役員も複数名交代となり新体制での活動となります。どうぞよろしくお願いいたします。今年度の支部大会では、東京大学大学院人文社会研究科 死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田薫子先生をお招きし、「エンドオブライフ・ケアを考える」というテーマでご講演いただきました。地域包括ケアの時代、誰もが真剣に取り組まなければいけない課題であると思います。また毎回好評の研修会では「急変時の看護」「摂食・嚥下障害看護」「看護に必要な心電図の見方」をテーマに開催予定です。今後も地域の看護の質向上、看護職員が生き生きと働ける職場作りを支援していきたいと思います。



会田先生の講義



支部大会 新役員のメンバー

前役員の皆さん、ありがとうございました！

前支部長 小林 信子さん 川崎市看護協会
前支部役員の皆様
菅 智子さん 市立川崎病院
三富 京子さん 高津区高齢・障害課
中村 智さん ハートフル川崎病院
館山奈緒子さん 市立井田病院
秋山 聖子さん 帝京大学附属満洲病院
原田美根子さん 川崎市看護協会

横浜北支部 (鶴見区、神奈川区、港北区、緑区、青葉区、都筑区)

支部長 原 久美 (平和会平和病院)

「まちの保健室」は、都筑区区民祭への参加が3年目となりました！

6月の北西支部合同支部大会では「ちょっと個性的で発達障害っぽいスタッフの理解と支援・かわり方」というテーマで講演会を開催し、管理職を含む多くの参加があり、さまざまな施設で大きな課題になっていることがうかがわれました。研修会としては、8月に「あなたもできる災害の備え」を開催し、実際に被災地で活動したDMAT 隊員である、横浜労災病院看護部 村上秀明先生を講師に迎え、発災時の具体的な行動をイメージすることができました。また、10月には「いまさら聞けないフィジカルアセスメント」シリーズ基本編を、11月には好評いただいていた「身近に使える感染対策」を開催しました。

「まちの保健室」は、都筑区区民祭への参加が3年目となりました。毎年、地域の皆様にご参加いただき、血管年齢測定を行いながら健康に過ごすためのアドバイスをいたしました。



講師の村上先生



まちの保健室。旧役員も参加してくれました

横浜西支部 (保土ケ谷区、旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区)

支部長 吉澤 壽子 (育生会横浜病院)

「人生100年時代に求められる看護を考える ～生き生きと、ますます地域とつながる看護をめざして～」

横浜西支部では、地域に求められるケアを大切に、地域包括ケアシステムの実現に向けた様々な活動を実践しています。地域で暮らす患者さんと様々な場所で働く看護職が多方面からつながっていく関係性が大切です。6月は「発達障害」をテーマに看護の現場のニーズに応える講演を、8月は「摂食嚥下ケア」研修で解剖生理の基本を押さえ、しっかり患者さんの生活に視点を向けることの重要性を改めて学びました。10月は北支部合同でシリーズ化している「フィジカルアセスメント」研修、12月は意思決定支援をテーマに「病院と地域をつなぐケア」研修会を開催しました。例年秋には「まちの保健室」として横浜市内の区民まつりに参加し、地域健康普及活動を行ってきました。今後も様々な企画を実践していきます。



「摂食嚥下ケア」研修風景



横浜西支部役員のメンバー

横浜南支部 (西区、中区、南区、港南区、磯子区、金沢区)

支部長 濱崎 登代子 (横浜市立大学附属病院)

「支部研修を通してお互いのつながりを深める」

今年度は、「日頃の疲れをアロマセラピーで癒してみませんか？」をテーマに支部大会を開催しました。お互いにマッサージを実施し、アロマの香りに癒される楽しいひとときを過ごしました。参加者のアンケートからも「職場でもアロマセラピーを取り入れていきたい」などの意見も聞かれ、有意義な時間となりました。その他「身体拘束を最小限にした高齢者の転倒・転落予防」「想定外の災害への対応」「地域包括ケアシステムにおける入退院支援の課題 2025年まであと6年」を開催しました。さらに看護研究基礎編として「看護研究の進め方」を予定しています。

今後も看護活動に活かせる情報提供や、興味を持ち楽しめる研修を企画し、お互いのつながりが深められるよう、役員一同努力してまいります。



研修会風景



アロマに癒される楽しいひととき

横須賀支部 (横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)

支部長 嘉山 静子 (三浦市立病院)

「あらゆるフィールドでの JNA ラダー活用を目指して」

横須賀支部では、病院、在宅、施設など様々な場で看護職が活躍しています。地域の中で、生活の場が変化しても継続して質の高い看護を提供できるよう JNA ラダーの導入に向け、過去2回、横浜市立大学 医学部看護学科 教授 渡邊眞理先生による講演会を開催しました。3回目となる今回は「JNA ラダーの活用方法～初回から取り組みの中の“困った”を解決するために」がテーマでした。病院だけでなくクリニックや訪問看護ステーションからも多くの参加があり、それぞれの施設が抱える「困った」に対して活発な意見交換がなされました。

今後も「ふれあいフェスティバル」や「看護・介護実践報告会」など地域の方々の交流の場を継続していくと共に、生涯現役をテーマとした講演会の企画等、地域の皆様に役立つ研修や企画を発信できるように取り組んでまいります。



ふれあいフェスティバル2019



「JNA ラダーの活用方法」講演会風景

役員の推薦及び立候補について

推薦委員長 大川 由美子

公益社団法人神奈川県看護協会定款第25条に基づき、令和2(2020)年6月通常総会をもって任期満了となる役員について次の通り改選します。本協会正会員等の中から協会活動を推進する有能な人材を得るため、推薦基準に該当する方をご推薦くださいますようお願いいたします。

【役職名及び定数】

役 職 名	定数	役 職 名	定数
常 務 理 事	1	横 須 賀 支 部 理 事	1
助 産 師 職 能 理 事	1	小 田 原 支 部 理 事	1
横 浜 北 支 部 理 事	1	県 央 支 部 理 事	1
横 浜 西 支 部 理 事	1	監 事 (看護職以外)	1
横 浜 南 支 部 理 事	1		

【任 期】

理 事：令和2年(2020)年6月通常総会終結の時

～令和4(2022)年6月通常総会終結の時

監 事：令和2(2020)年6月通常総会終結の時

～令和6(2024)年6月通常総会終結の時

【推薦基準】

○神奈川県看護協会の目的に沿って組織を強化発展させるよう実践できる人

○会員歴が3年以上の人(監事(看護職以外)を除く)

○会員の実情をよく知り、定められた会議に出席して、それを反映できる人

○公益社団法人神奈川県看護協会定款21条の役員の欠格事由に該当しない人

なお、推薦していただく方については、再度推薦委員会で協議検討の上、候補者として推薦させていただきます。

【推薦方法】

推薦を行う場合は、被推薦者の承諾を得てから、所定の用紙に必要事項を記入の上、令和2年2月28日(金)までに、推薦委員長に届け出てください。

提出書類：令和2年度役員推薦書

令和2年度被推薦承諾書

【立候補の方法】

立候補しようとする方は、正会員5名以上の推薦を受けて、所定用紙に必要事項を記入の上、令和2年2月28日(金)までに会長に届け出てください。

提出書類：令和2年度役員立候補届

【問 合 せ】 総務課 総務班 稲田

☎045-263-2914

※届出用紙が必要な場合は担当までご連絡ください。

理事会報告

第3回 | 令和元(2019)年10月5日(土)

審議事項

1. 緩和ケア認定教育課程の今後の方向性について
2. 資産取得資金積立限度額等の変更について

協議事項

1. 支部研修の受講証明書について
2. 会員登録について

報告事項

1. 会長・専務理事・常務理事業務執行報告
 - 1) 日本看護協会理事会・法人委員会について(7/25・26、9/27)
 - 2) 平成30年度会計監査における監事からの意見・要望についての対応
 - 3) 神奈川県・市からの委託事業について
 - 4) 認定教育課程・学会・研修会等について
 - 5) 日本看護協会見学ツアーについて
 - 6) サンリオピューロランド無料で招待実施報告

- 7) 令和元(2019)年度かながわ訪問看護ステーション一覧について
- 8) 勤務環境改善支援センターと連携したWLBインデックス調査参加病院の進捗状況
- 9) 災害支援ナースの登録状況について
- 10) 令和2年度事業計画書様式について
- 11) 令和2年度行政要望を踏まえた県議会での質問について
2. 職能・支部理事報告

依頼事項

1. 看護協会支部推薦による看護職の表彰について

令和2(2020)年度事業計画案検討会について

その他

1. 参考資料について

会員読者の皆さまへ

お年玉プレゼント ～この機会に、豪華賞品をゲットしよう！～

会員だけの特典!
どんどん応募しよう!

神奈川県看護協会より、応募された会員読者の方へ
抽選でお年玉プレゼントを差し上げます。

賞 品

- 1等 30,000円旅行ギフト券 …… 1名様
- 2等 10,000円全国共通食事券 …… 10名様
- 3等 5,000円図書カード …… 15名様
- 4等 3,000円クオカード …… 20名様

注) 賞品は選べません。

【応募方法】

はがき又はメールに ①「お年玉プレゼント希望」②郵便番号・住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤会員番号 ⑥看護だよりの感想、気に入った記事等 を記載して神奈川県看護協会へお申し込みください。お申し込みは、はがきかメールどちらか一方のみで、お一人様1回に限らせていただきます。

【送 付 先】

〒231-0037
横浜市中区富士見町3-1
公益社団法人神奈川県看護協会
広報出版委員会 「お年玉プレゼント」宛
メール: kouhou@kana-kango.or.jp

【締 切】

令和2年1月17日(金) 必着

【抽選・発送】

- 厳正な抽選の上決定し、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
- 記載事項に不備のある方は、無効とします。
- 頂いた個人情報は、賞品の発送(2月中旬予定)のみに使用し、他への転用はいたしません。

昨年度「看護だよりの」感想

いつも楽しく拝見しています。特に表紙の病院紹介は、今回はどの病院かな? 知っている人いるかな? など楽しみにしています。

「エンドオブライフ・ケアを考える」一現在病棟で退院調整に関わる事が多く、終末期の在宅療養をめぐる患者さんやご家族の選択肢を広げることができる内容で何度も読み返しました。人工栄養を控えることが緩和ケアにつながるという記事は目からうろこでした。

今年もご応募を
お待ちしております!

「ヒートショック」の記事を読んで、祖母と曾祖母に早々に伝えました。お役立ち情報は自分だけでなく、家族に伝えられるので、とても良いです。

支部コーナーはいつも楽しみにしています。自分のいる支部の活動は興味深いです!

広報出版委員会が行った昨年度の抽選会の様子

「スペシャリストがいく」は志の高い方々が私たちの日常を支えてくれているんだと思うと、本当に応援したい気持ちになります。一人のスペシャリストが病院だけでなく、地域全体にまで大きな影響をあたえていることに驚き、感動しました。

その他にもたくさんの嬉しいご感想をいただきました!



こんにちは事務局です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

令和2年度新規入会・再入会 申込み受け付け中！

■新規・再入会の方へ

令和2年度の手続き受け付け中です。

有効期間／令和2年4月1日～令和3年3月31日

入会費／20,000円(当協会へ初めて入会する方)

年会費／11,000円(日看協5,000円+当協会6,000円)

■継続の方へ

①「2020年度会費のお知らせ」を郵送いたしました。

自動継続のため、会員情報に変更がない場合は同封されている「会員情報変更届」の提出は不要です。

②令和2(2020)年度会費納入について

口座振替の方／令和2年1月27日(月)引落予定です。

銀行・コンビニ振込の方／払込用紙でお支払いください。

施設とりまとめの方／担当の方がとりまとめ、施設専用口座へお振込みください。

※継続を希望しない方は12月20日までに退会届の提出もしくは県協会へご連絡ください。

令和元(2019)年度 申込手続きをされた方へ

お手元に会費の振込用紙(コンビニ用・銀行用)がある場合は、早急にお支払いください。

口座振替依頼書不備の方は早急にご返送いただくか、県協会までご連絡ください。

申込書の請求・ご不明な点等は下記問合せ先まで。

問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



「幅広い訪問看護を提供し、地域を支えます！」

——公益社団法人神奈川県看護協会
あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)

あかしあ訪問看護ステーションは、1998年に茅ヶ崎市に開所し、今年21年目を迎えます。

小児から高齢者までの月平均約130人の利用者に、慢性疾患やがん、神経難病、精神疾患などへの幅広い訪問看護を提供しています。看護師は30代の子育て世代から50代までの13人で、緩和ケア認定看護師2人、医療的リンパドレナージセラピスト1人が所属しています。

地域包括ケアシステム構築が進む中で、市民まつりに「まちの保健室」を出店し、市民に訪問看護の存在をアピールするとともに、無料の健康相談を行っています。

9月15日、駅から徒歩15分の長尾ビル3階に事業所を移転しました。1階に保育園、2階に学童クラブがある明るい環境で、職員一同、地域に貢献するよう、努力をいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

所長 神田 真理恵

新住所 〒253-0054

茅ヶ崎市東海岸南2-6-14 長尾ビル3F

あかしあ訪問看護ステーション

☎0467-89-2830

(アクセス等、詳細は協会ホームページをご覧ください)

昨年9月に
移転しました！



ジョーさん

新春のつどいご案内

日時／令和2年1月23日(木)

18:00～20:00

場所／横浜ロイヤルパークホテル宴会棟3階
鳳翔の間

会費／6,000円

問合せ／総務課 総務班 ☎045-263-2914

令和2年度教育計画・事業(案)説明会

日時／令和2年2月26日(水)

13:30～16:45(受付13:00より)

会場／神奈川県ナースセンター研修室
(神奈川県総合医療会館5階)

参加費／無料

応募方法／往復はがきに

①研修名②氏名(フリガナ)③所属施設名

④施設内での役割⑤施設電話番号⑥会員・非会員の別(会員番号)をご記入の上お申し込みください。

締切／1月20日(月)必着(定員100名先着順)

詳細はホームページをご参照ください。

問合せ／研修課 教育研修班 ☎045-263-2926

認定看護管理者教育課程募集

◆ファーストレベル

開講期間／令和2年5月8日(金)～8月28日(金)

募集人員／70名

募集期間／令和2年1月14日(火)～1月28日(火)

◆セカンドレベル

開講期間／令和2年10月8日(木)～

令和3年2月26日(金)

募集人員／45名

募集期間／令和2年5月7日(木)～5月21日(木)

募集要項はホームページからダウンロードしてください。

問合せ／研修課 認定教育班 ☎045-262-2630

訪問看護師養成講習会開催

日時／令和2(2020)年4月 開講予定

9:30～16:30 (全30日間)

場所／神奈川県ナースセンター研修室
(神奈川県総合医療会館5階)

対象／訪問看護に従事して間もない方・これから訪問看護に従事する方

参加費／未就業者：¥20,000 就業者：¥40,000

定員／50名

締切／令和2年(2020)年2月20日(木)

問合せ／地域看護課 地域看護班

☎045-263-2933

編集後記

新年あけましておめでとうございます。令和初の新年を迎えました。今年の抱負は…?ダイエット、資格取得など様々と思います。皆様にとって実り多き1年となりますよう看護協会でも応援していきたいと思っています。今年度もよろしくお願いいたします。

(S.Y)